

品目別レポート（豚肉）

■品目説明

豚肉は「枝肉及び半丸枝肉」「骨付きのもも肉及び肩肉」「その他の部分肉」に大きく分けられ、それぞれ生鮮・冷蔵品と冷凍品とがある。国連食糧農業機関(FAO)Food Outlook(2020年6月)によると、2019年の世界の豚肉生産量は、1億980万トン(枝肉換算ベース)と推定される。米国農務省(USDA)(2020年7月)によると、主要生産国は、中国(3,600万トン)であり、これにEU28カ国(2,413万トン)や米国(1,295万トン)などが続く。国内の令和元年度の消費量を部分肉についてみると、前年度比0.8%減の181万1,000トン、うち輸入肉は52.6%を占めた。夏場の冷夏による需要の減退や冬場の記録的な暖冬による鍋需要の不振等があったとしている。一方、同年度の国内生産量は前年度比0.6%増の90万3,000トンであった。(出所:農林水産省「畜産の動向」、令和2年7月)。

■貿易概況

▼表1: 日本の豚肉(くず肉除く)輸出

(単位:ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	4,666,028	476	5,523,960	527	6,414,402	615	16.1	16.7
シンガポール	1,208,159	105	1,097,533	97	1,891,601	164	72.4	69.1
マカオ	108,409	5	160,197	12	313,266	23	95.6	91.7
ベトナム	15,261	1	2,424	0	17,923	1	639.4	-
スリランカ	-	-	-	-	4,400	0	-	-
全世界	6,471,296	622	7,150,545	661	8,641,592	804	20.9	21.6

注:対象はHSコード 0203

出所:Global Trade Atlas(IHS Markit)より作成

19年の豚肉(くず肉を除く)の輸出をみると、金額は前年比20.9%増の864万ドル、数量は同21.6%増の804トンであった。輸出相手国・地域別にみると、1位は香港で金額は前年比16.1%増の641万ドル、数量は同16.7%増の615トンと前年に続き上向いた。2位がシンガポールで金額は同72.4%増の189万ドル、数量は同69.1%増の164トンと伸びた。3位のマカオは金額が同95.6%増の31万ドル、数量が同91.7%増の23トンであった。

■海外事情

●香港

▼表2：香港の豚肉（くず肉除く）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ブラジル	243,604,699	101,408	239,096,605	112,060	222,822,998	100,170	△ 6.8	△ 10.6
中国	226,407,859	49,455	170,338,066	38,732	124,942,482	26,280	△ 26.7	△ 32.1
ベトナム	64,679,005	15,419	35,813,260	9,162	53,258,181	11,494	48.7	25.5
オランダ	73,403,193	24,523	46,671,078	15,521	52,453,605	16,375	12.4	5.5
米国	134,088,460	60,460	68,039,675	29,846	29,972,493	11,167	△ 55.9	△ 62.6
日本（11位）	5,562,988	478	6,810,099	539	7,022,571	624	3.1	15.8
全世界	989,430,752	360,768	674,733,079	250,756	592,945,694	201,149	△ 12.1	△ 19.8

注：対象はHSコード 0203

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の豚肉の輸入動向をみると、金額は前年比12.1%減の5億9,294万ドル、数量は同19.8%減の20万1,149トンとなった。輸入相手国の動向をみると、ブラジルが1位で金額が前年比6.8%減の2億2,282万ドル、数量は同10.6%減の10万170トン。ブラジル産豚肉は単価が安く、香港では特に庶民向けローカルレストランで多用されている。2位の中国は金額が同26.7%減の1億2,494万ドル、数量は同32.1%減の2万6,280トンとなった。3位の米国は金額が同55.9%減の2,997万ドル、数量は同62.6%減の1万1,167トンだった。日本は11位と規模は大きくないものの、前年比3.1%増の702万ドルと伸びている。

香港における日本産豚肉の利用では豚足の割合が大きく、主に中華料理で使用されている。日本産豚肉に対し安全、安心で美味しいとのバイヤーの評価が近年高まっているが、他国産に比べて価格が高いため、いかに価格帯を下げつつ、日本産のブランド力や付加価値を高めていくかが課題であると考えられる。香港における日本産の豚肉の銘柄数と販売量は、和牛に比べて少ない状況で、今後の普及が待たれるところである。香港から日本を訪れる観光客数が増加傾向にあり、日本のおいしい豚肉を食し、香港に戻ってきてそれらを求めるニーズが今後増えていくことが期待されている。香港の中華料理ではバーベキューポークやシューマイなど豚肉を使う料理が多く、日本料理に加えて、日本産豚肉が開拓を目指す市場環境も整っている（『FOOD & Agriculture』ジェトロ、2017年5月8日付）。

▼表3：香港の豚肉輸入内訳

(単位：USドル、トン、%)

	金額				数量			
	2017年	2018年	2019年	前年比	2017年	2018年	2019年	前年比
豚肉（生鮮・冷蔵）								
枝肉及び半丸枝肉 (0203.11-000)								
タイ	-	-	2,780,713	-	-	-	595	-
英国	-	-	2,402	-	-	-	-	-
ドイツ	659	-	-	-	-	-	-	-
骨付きのもも肉及び肩肉 (0203.12-000)								
ブラジル	6,623,753	6,959,475	4,725,705	△ 32.1	2,856	3,118	2,289	△ 26.6
スペイン	795,341	579,462	658,477	13.6	33	37	26	△ 29.7
フランス	358,920	171,812	235,106	36.8	28	13	19	46.2
その他のもの (0203.19-000)								
中国	24,732,875	18,954,611	32,631,913	72.2	6,735	5,417	7,492	38.3
タイ	740,194	429,439	14,165,649	3198.6	126	88	3,241	3583.0
オーストラリア	2,756,504	2,258,159	4,728,113	109.4	343	315	724	129.8
豚肉（冷凍）								
枝肉及び半丸枝肉 (0203.21-000)								
ベトナム	56,306,120	33,750,753	49,875,086	47.8	13,250	8,568	10,725	25.2
中国	6,335,511	7,210,626	5,531,012	△ 23.3	1,256	1,590	1,153	△ 27.5
タイ	-	-	41,383	-	-	-	11	-
骨付きのもも肉及び肩肉 (0203.22-000)								
ブラジル	15,154,035	18,643,621	13,892,192	△ 25.5	10,324	13,185	10,739	△ 18.6
米国	22,686,129	17,208,295	3,835,749	△ 77.7	12,849	10,180	2,274	△ 77.7
カナダ	443,327	578,489	1,090,441	88.5	370	384	848	120.8
その他のもの (0203.29-000)								
ブラジル	221,826,912	213,493,509	204,145,489	△ 4.4	88,228	95,757	87,114	△ 9.0
中国	195,339,473	144,143,201	86,779,556	△ 39.8	41,464	31,711	17,634	△ 44.4
オランダ	72,203,159	46,060,723	50,803,111	10.3	23,543	14,995	15,452	3.0
食用くず肉・豚（生鮮・冷蔵） (0206.30-000)								
スペイン	34,397	-	-	-	25	-	-	-
カナダ	2,529	-	-	-	-	-	-	-
オーストラリア	-	3,353	-	△ 100.0	-	-	-	-
食用くず肉・豚（冷凍） (0206.49-000)								
米国	291,248,232	248,017,120	139,382,729	△ 43.8	130,684	114,097	86,273	△ 24.4
ブラジル	108,143,409	119,797,430	93,964,037	△ 21.6	50,742	56,647	61,634	8.8
ドイツ	165,839,893	105,377,946	67,692,228	△ 35.8	88,061	57,774	45,383	△ 21.4

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。